第11回地域医療と西予市立病院等の在り方調査特別委員会会議録

1. 招 集 年 月 日 令和6年2月19日

1. 招 集 の 場 所 議員全員協議会室

1. 開 会 令和6年2月19日

午後1時1分

1. 閉 会 令和6年2月19日

午後2時27分

1. 出 席 委 員

委員長 兵頭 学

副委員長 加藤 美香

委員 和気 数男

委員 信宮 徹也

委員 宇都宮俊文

委員 中村 一雅

委員 佐藤 恒夫

委員 山本 英明

委員 竹崎 幸仁

委員 小玉 忠重

委員 源 正樹

委員 中村 敬治

委員 二宮 一朗

委員 森川 一義

委員 酒井宇之吉

1. 欠 席 委 員

委員 井関 陽一

1. 出 席 説 明 員

な し

1. 出席議会事務局職員

書記 瀧川 健二

書記 三好 祐介

1. 会議に付した事件

委員会審査報告書について

その他

1. 会 議 の 経 過 別紙のとおり

開会 午後1時1分

○加藤副委員長

ただいまより第11回地域医療と西予市立病院等の在り方調査特別委員会を始めます。

委員長より挨拶がございます。

○兵頭委員長

委員長が挨拶を行う。

○加藤副委員長

これよりの進行は委員長が行います。

○兵頭委員長

それでは早速協議に入りたいと思います。16日にタブレットに配信しておりますが、皆さん見ていただいたと思いますが、その中で何か気の付かれた点、何かこういったふうにしたほうがいいんじゃないのかという点がありましたら、今日この場で言っていただきたいと思います。今日がもう本当に特別委員会としては最終になりますので、慎重審議よろしくお願ひします。まだ見てないという方はないと思いますので、何かありましたら御提案をお願いいたします。

○信宮委員

今回の特別委員会の委員長報告(案)ですけれども、最初にこれまでの特別委員会の行動とそれから今後の方向性についてということなんですけれども、全体通してみましたら、非常に何か特別委員会としてはっきりはさせないような曖昧な部分が多いといえますか、はっきりとはしてないような委員長報告になってると思います。これはこれでいいのかもしれないけれども、もうちょっと踏み込んだところもあっていいのかなと思うところがありまして、前回の委員会するときでも、指定管理それから全適もう一つ現在のままということで、委員に意見を聞いたところ野村病院に30床は残すという方向だったら指定管理もやむを得ないというような意見が、全体の6割から7割あったのではないかと思いますので、その辺は少し入れたらいいのではないかと思いますところがあるのですがいかがでしょうか。

○兵頭委員長

ありがとうございます。

今言われたのは2ページの今後の方向性についての最後の8行目ぐらいからですかね。これまで市から説明を受けた事業の進捗状況や再編計画の

内容、また医療従事者との意見交換会や市民説明会の声などを踏まえた中で、委員からは、地方公営企業法の一部適用をした現状維持、地方公営企業法全部適用の導入、指定管理者制度の導入、野村病院に病床を残した上での指定管理者制度の導入など様々な意見があったというこの表現でしようかね。何かほかにこの意見に対して何か。

○中村一委員

全体的に指定管理者制度に移行するのはやむを得ないという意見が多かったように前回の委員会では記憶しております。ただし拙速だから時間をかけるべきだという声も5人か6人から上がっていたかと思ひます。その時間をかけるべきというのはいつまでかけるのだという話になると思うんですが、この3月に議案が上程されたと仮定すると、これはもう時間をかけている場合ではない議決に向かわなければならないということに結果的になりますから、その場合については、特別委員会としては意見をどのように集約するのだろうかということ少し思ひます。

○兵頭委員長

ただいま中村委員からも、時間をかけるべきという案もあったということですが、時間をいつまでかけるのかというのが、議論になろうかと思ひますが、もう御承知のように今は出てませんが、理事者の考えでは恐らく条例改正、今定例会に上程されるのではないかと考えております。その条例改正が上程される前に特別委員会としては、特別委員会の方向性を示せるような話をしたいと、報告をしたいと思ひますので今の意見を踏まえた上で、皆さんにこの指定管理者の意見が多かったという一文を添付するほうがいいのではないかと表現をされましたが、いかがでしょうか。

この指定管理者の意見が多かったという、一方いろんな全適、一部適用という意見があったという表現になろうかと思ひます。今の表現ではこれ全部四つ書いてありますけど、どれが良いとも何とも表現してないんで、そこら辺はやっぱ方向性ある程度見いだすべきじゃなからうかと思ひますので、指定管理者でもA案B案ありますので。

○小玉委員

私は何度も言っておりますように30床残さんかったら設置条例に反対します。それで向こうにも言うております。この条例反対せんかったら、

次に選定委員会つくって指定管理者のあれが出たらその次はこういう指定管理者になりましたよってなるんで、なし崩しになるので病院の設置条例の改正が出ると思いますが、それに 30 床残さんのやったら反対したいのでそういう方向で私としてはお願いしたいと思います。

○兵頭委員長

ありがとうございます。

確かにA案B案出ておりますが、今だにどちらにするという返事はありませんし、上程されるんであれば恐らく理事者もA案なりB案なり、進めていくという答えをせんと、これ当然厚生常任委員会にかかりますので、当然委員もそれぞれの思いがあります。ですから理事者もそこまでは方向性を決めるのではないのでしょうか。これはあくまでも予想ですので、はっきりは言えませんが、そういった臆測で物を言うのもあれなんですけど、やはり特に野村・城川の方は一方のA案のほうがという意見が多いと思います。また、一方では、もう指定管理者で進むべきだという意見もありますし、その中で、まとめたら指定管理やむなしという方向で意見書をまとめるのか。それとも、こういうふうにだらだらと書いて、全くもうどれが中心やら分からんというような、特別委員会としては、やはり何か意見が多かった順番に載せるのが本当かなとは思いますが、そこら辺をまた皆さん議論していただいたらと思います。何かありましたら。

○酒井委員

前のときに、平成 22 年の場所の問題のときには、こういう経緯があって採決は委員長も入り、採決じゃなかったですけど、賛同はこちらが何ぼこちらが何人という形で、これは委員長報告ですから、議決じゃありませんのでそういう報告をしました。そこんところで、小玉委員がおっしゃられるのは指定管理の条例が出たときに、反対討論、賛成討論の中で、こういう条件の議論をして私はこの案について賛成、反対というその討議を質疑の中に討論の中にできると思います。

○兵頭委員長

暫時休憩を告げる。(休憩 午後 1 時 12 分)

○兵頭委員長

再開を告げる。(再開 午後 1 時 51 分)

先ほどの意見の中でA案、B案いろいろありま

したが、基本的には、四つの選択になろうかと思っています。そういった中で、その四つを今日 1 人欠席ですが、ここで採択をして順番に載せるのか、それとも今出とるような感じのままで流すのか。そこら辺をちょっと協議していただいたらと思いますが。

○源委員

実際議案として出されるかどうか分からない状況の中で、この委員会の中で、採決をはっきり先に取ってしまうっていうのは、私はどうかなと思います。ただ意見の中で、多い意見が条件付も含めて指定管理という意見は多かったかと思っておりますので、そのことについては私は基本的に四つの案の中で、多い順に変えたらいいと思います。

○兵頭委員長

今ほど源委員から、四つの意見を多い順からということですが。

○酒井委員

採決する必要はないですけども、意見としてこれだけの数があって意見としてこの数がこれだけあってということは付記しても構わないと思います。以前のときにも、そういうような付記の仕方をして、報告ですから。

○兵頭委員長

ただいま酒井委員から、もう人数もそういうふうに明記したほうがいいという意見もあります。この点どういたしましょう。

○兵頭委員長

暫時休憩を告げる。(休憩 午後 1 時 53 分)

○兵頭委員長

再開を告げる。(再開 午後 1 時 58 分)

今ほど、皆さんの御手元に私の案を出しておりますので、黄色く塗った部分 2 ページの分これを参考にさせていただいて、これからまたやりかえることが出来ますので、こういった方向性はどうかということで、ちょっと見ていただいたらと思います。

暫時休憩を告げる。(休憩 午後 2 時 00 分)

○兵頭委員長

再開を告げる。(再開 午後 2 時 1 分)

ただいま配信しました報告書(案)ですが、これについて何か御意見がありましたら。

○信宮委員

黄色の修正というか、今配信してもらった分な

んですけれども、委員からは指定管理者制度への導入へ向けた意見が多くあるという、ちょっとこれでは何かみんな大手を振って指定管理の導入を賛成してるような、何かイメージを受けてしまうような形になるんじゃないかと思うんですけど、指定管理制度の導入は今後避けては通れないという意見が多くある一方というふうなことはどうでしょうか。

○兵頭委員長

暫時休憩を告げる。(休憩 午後2時2分)

○兵頭委員長

再開を告げる。(再開 午後2時4分)

ただいま信宮委員から今ちょっと表現がということで、指定管理者導入も致し方なしという意見が多くある一方などという表現がいいんじゃないかという意見がありました。これいかがいたしましょう。避けては通れないという意見らしいんですが。

○中村敬委員

私はこれでいいんじゃないかと思います。それよりも、私はちょっと別の意見なんですけど、ここで黄色の中で地方公営企業法全部適用の導入というようなことも書かれておる以上、次の市民に対する根拠資料に3ページの1番上の①のところですけれども、こういう説明をしてくれというところをもう少し具体的に、こういう指定管理者ということを前提にするのが理事者がそう思っただけからそれはそれでいいとしても、やはり私がちょっと個人的に思うのは地方公営企業法全部適用というようなものが意見として出ておると委員から、それについてもうちょっとどうして、度々言いますけれども、今までも言いましたことですけれども、そういう全部適用がなぜいけないのか出来ないのか、周辺の市町にもあるわけですけれども、そこんところがいま一つ分からないわけですよ。そこらをもう少し出来ない理由を明確にしてもらったほうが方向づけがはっきりするんじゃないかなと思います。何となくもう先に指定管理者がありきで十分本当に検討されたのかどうかというところが全く見えないので、しっかりとその辺を市民のレベルに合わせた形で説明をしてもらいたいなと思っておりますので、もう少し表現を追加してもらったらと思うんですが。

○兵頭委員長

全適が無理だというのは、市民病院の院長菊池先生が言われました。

○酒井委員

これは正直言いまして、私全部のところに出ました。そのときに、全適の不都合でやる可能性がないというような説明を菊池先生やいろんな人が説明しております。ですからそれをここでまた繰り返してはっきり説明せよと言われるのは私は心外ですね。市民説明会の中でそれはほとんどのところから出ました。だから、この全適がいいという話が、断念したという話がほとんどで、どういう理由で話したかという、それは看護師の中で話したと、病院内で話したということでしたんで、それ以上その中でどういう話合いがされたか私も分かりませんが、そういう報告はほとんどのところでありました。

○中村敬委員

私も宇和の説明会聞いておったんですけれども、院長は全適は困難である無理であるということは言われました。しかしそれ以上の説明は聞いておりません。ですから、ほかのところの説明会には私は行ってはないんですけれども、行かなんだのが悪いような話ではない話で、やはり市民というレベルは、全員がそういうところへ行かないかん義務があるわけでもないしここで説明で聞いたことが、ほかのところでの説明と同等でなければおかしいわけで、あっちで説明し十分説明しこちらでは不十分だったというような話でもない私は思っておりますので、その辺がまだまだ不足しておると思います。

○酒井委員

全適をしようとした意見は出ましたけれども、検討するという形で、病院内とかそういうところで検討して、それが正式にそっちのほうで全適にしてくれという意見はほとんど出ておりませんので、その中でどんな議論がされたか私も分かりませんよ。ただ、宇和島市立病院にしても全適をやるところ非常に今苦境に陥ってるという話がありました。だからそれが何で原因でそんなとこまで分からんといけんのかというのは私も不都合です。ただ、責めとるわけじゃないです。それは積極的に委員会の委員になって、情報もしっかりとらえる形で私は五つとも行きました。そういうことです。咎めとるわけじゃございません。委員長が最

初ここで決めたときには、地区の議員は、地区は必ず出て下さいということだけだったんで、何ら答める必要はないですけども、私は全町の意見を聞きに行ったとこういうことだけです。

○中村敬委員

市民に本当に理解出来ておると私は思いませんので、もう少しその辺を詳しくということをお願いしただけです。

○源委員

その部分に関して、いわゆる理由等の説明不十分というふうに①番にはっきり明記されております。それは指定管理導入に至ったのは、職員の皆さんから全適という話も無理だという話も含めた話だと私は思いますので、もうこのままでいいんじゃないかなと思います。

○兵頭委員長

3ページの市民に対する根拠資料に基づく説明についてということ表現しておりますので、中村委員もそこら辺ちょっと御理解願ったらと思います。

○和気委員

今の全適の説明なんですけど駄目だということがあったんですけども、一步踏み込んでどこがどう駄目なのかということがない。それと、市の行政のほうも1回検討するという、たしか出たと思うんですけどね。それも報告がない。やっぱりここら辺のきちんとした根拠について、説明をしてから断定をするべきじゃないかと思っております。

○兵頭委員長

私と副委員長2人で宇和島市立には伺いました。宇和島市立の場合は、以前も説明したと思いますが、事務局長以下事務局は市の職員が派遣されております。ですから、指定管理者は院長先生ですが、事務局長は市長、副市長には何かあったら必ず報告して、指導を仰ぐというような形で一部適用とほとんど変わらん。ただし、責任者が院長で市長ではないというそこだけで、赤字出たら宇和島市から補填をします。だから何ら変わらんですねという話をしますと、事務局長もそのとおりです。一部適用、全部適用言うけど実際宇和島市がやられとるのは、もう一部適用とほとんど変わらんかったという話であったんですが、ほかのところ聞きますと事務局長が本当によそから、もう

この人はというような人を入れて、その人が全部仕切れれば全部適用も運営できるかもしれませんが、宇和島市と今西予市が言えることは全部適用、一部適用ただ頭が変わってるだけの話なんで、それでは変化は起こらんということで、何か宇和島市も今のところちょっと行き詰まるとという話を聞いております。ですからこれを全部委員長報告の中に入れると。20分か30分しゃべらんといけんなるんで、その点は御理解願ったらと思います。

○和気委員

ちょっと意見としてですが、宇和島市立病院が何かおかしくなったとかいうようなことを、ちらちら聞くんですけどそれはどういう根拠に基づいてのものなのか。ある人に聞いたら一遍訪問をして、いろいろ調査をしてまた報告をするということ言うてもらったんですけど、いわゆる事務関係は私は市の職員がやるのは別に何だかおかしいことではないと思うんです。それは当然やっていかないけん。それをしてどういうふうにいけなかったのかということ、ある人に聞いたら要するに経理が複式簿記になるぐらいよというようなこともあったんですけども、そのことで病院がおかしくなったというようなことはないというふうに聞いておりますが、そこら辺のことがきちんと報告もされないままに進んでいくのはどうかなと思っております。現時点での私の意見です。

○兵頭委員長

暫時休憩を告げる。(休憩 午後2時15分)

○兵頭委員長

再開を告げる。(再開 午後2時26分)

様々な意見をお伺いしましたが、基本は2ページの黄色で塗った部分、これの文言に賛同いただけましたら、もうこれで流したいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○兵頭委員長

ありがとうございます。

それでは、委員長報告は今日来られてない方もいらっしゃると思いますので、改めて委員長報告の訂正を事務局から流させていただきますので、よろしくお祈いします。

それで、あとは21日委員長報告これにのつった部分で読み上げたいと思っております。それでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と発呼ぶ者あり〕

○兵頭委員長

その他何かありましたら。

○酒井委員

委員長報告に対して質問がある場合は、委員でない人は1人おるんで、そっから出るか出んかだけのことでしょ。

○兵頭委員長

そうだと思います。

それでは、閉会といたします。

○加藤副委員長

これをもちまして、第11回地域医療と西予市立病院等の在り方調査特別委員会を終わります。

閉会 午後2時27分

西予市議会委員会条例第30条第1項の規定によりここに署名する。

地域医療と西予市立病院等の在り方調査特別委員会委員長

兵頭 学